

みんなが笑顔でいられるように



一宮市立丹陽小学校 四年

右橋 ことこ

私は、二年前からフラダンスを習っています。私が習っている教室は、一年間で十回以上、愛知県内のデイサービスセンターにフラダンスをおどりに行っています。そこで私が思ったことや、うれしかった事を書きたいと思います。

私が初めてデイサービスに行った時、笑顔でスタッフの方が私たちをむかえてくれました。少しきんちょうしながらデイサービスセンターの中に入ると、たくさんのおじいさんやおばあさんがいました。私たちのすがたを見て一人のおばあさんが「あら、かわいいね。」と言ってくれたのですが、私はまたきんちょうしてしまいました。

いしようにきがえて、フラダンスをおどる時間になりました。さつき私たちをむかえてくれた、スタッフの方とたくさんのおじいさんやおばあさんが、私たちを待ってくれていました。一曲目おどりはじめたとたんに、私はある事に気づきました。それは、さつきまで下ばかり見ていたおじいさんが、私たちのおどりを見ようと顔を上げて見てくれていた事です。そしてもう一人、おばあさんが、リズムに合わせて手びょうしをし始めた事でした。私はそれを見てとてもうれしくなり、今までががんばって練習したフラダンスをもっと見てもらいたいなと思い、教室のみんなど楽しんでおどりました。そして最後に、おじいさんおばあさんと一

人一人あく手をして帰りました。「かわいいかったよ。ありがとうね。」と何人もの人が私たちに言ってくれました。なかには上手にお話ができない方もいたけれど、私の手を笑顔でにぎってくれました。

初めてのデイサービスセンターはともきんちょうしたけれど、おじいさんおばあさんにとってもよるこんでもらえたので、私もうれしい気持ちになったのを今でも忘れません。

何回もデイサービスセンターへ行って分かった事がありました。なかには寝たきりの人や、ずっとイスにすわったまま笑わない人。おなじデイサービスセンターでもいろいろなしょうじょうの人がいることを知りました。けれど私達がフラダンスをおどっていると、寝たきりの人が目を覚まして私たちを見てくれたり、上手く笑う事ができないおじいさんだわ。」と思い、お母さんに聞いたなら「子どもがいっしょうけんめいがんばっているすがたを見て、うれしくてなみだが出ちゃうし、そのおじいさんは、あなたたちのすがたを見て昔の事を思い出して、泣けてくるんだよ。だから悲しいなみだじゃなくて、おじいさんにとつて、今までのすてきな思い出がよみがえってきたんだよ。」と教えてくれました。それを知って、私はとてもふしぎな気持ちになりました。私が楽しんでフラダンスをおどっている事で、一人のおじいさんはこんな思いをしているとは知りませんでした。そして、最後に一人一人あく手をして帰ったとき、笑顔で「ありがとう。」と言ってくれる人や、泣いてよるこんでくれる人、いろんな顔で私に「ありがとう。」と言ってくれました。

今年の夏休みは四ヶ所のデイサービスに行きます。私は自分のフラダンスをたくさんの人に見てもらって、たくさんの人を笑顔にしたいと思っています。